

# 疑わしい取引の届出における留意事項

平成 20 年 3 月



JAFIC : Japan Financial Intelligence Center  
警察庁刑事局組織犯罪対策部犯罪収益移転防止管理官

## 疑わしい取引の届出における留意事項

### 1 届出書作成時の留意事項

#### (1) 正確な入力

ア 各欄の入力事項は、下記(3)の「届出書の入力（記載）方法」を参考にして正確に入力してください。

イ 「顧客等に関する情報（別記様式第1号）」欄や「顧客等（個人・法人）の本人確認（別記様式第2号）」欄の記載には特に留意願います。本人特定事項に誤りがあると他の情報との整合性がなくなってしまう。

#### (2) 届出書の作成単位

ア 取引の相手方（顧客等）ごとに作成してください。

イ 代表者は同一でも社名が異なる場合、個人が取引ごとに別々の屋号を用いている場合など、取引の名義が異なる場合はそれぞれ別個に届け出るようお願いいたします。  
同一名義で複数の支店で取引があった場合は1つの届出でお願いします。

#### (3) 届出書の入力（記載）方法

ア はじめに

① 届出作成プログラム利用の場合、リストから選択して入力する項目はリストから選択していただきますが、リスト内に合致するものがない場合は、直接入力をお願いします（特定事業者名称、本支店名称等）。「取引に関する事項（別記様式第3号）」の「取引形態」等の項目で、表示されたリスト内に合致するものがなく、直接入力もできない場合は、リスト内の「その他」または「不明」を選択してください。

② 日付の入力にあたっては、年は西暦を使用し、月日が1桁の場合は頭に「0（ゼロ）」を付け、年月日を「/（スラッシュ）」で区切ってください。

【例】 2008/04/01

③ 「別記様式第1号（届出票ファイル）」に入力した顧客等に関し、本人確認に関する事項、継続的取引に関する事項について該当があれば、それぞれ、「別記様式第2号（口座等情報ファイル）」の「顧客等（個人・法人）の本人確認」欄、「継続的取引関係に関する事項」欄に入力してください（届出作成プログラム利用の場合は、「新しい口座等情報」シートを作成のうえ、入力をする事となります）。  
以下、留意していただきたい点について項目ごとに説明いたします。

イ 「届出特定事業者（別記様式第1号）」欄の入力方法

① 届出番号は、特定事業者ごとに、暦年4桁及び暦年における一連番号6桁を入力してください。

【例】 「届出番号（年）」欄 → 2008  
「届出番号（番号）」欄 → 000001

届出番号が重複することのないよう留意願います。

また、届出番号欄の年と届出年月日の年が異なることのないようお願いいたします。

- ② 担当者名、本店所在地、電話番号等を必ず入力してください。JAFICから、届出情報について、本欄に入力されたご担当者様宛に照会させていただくことがあります。

ウ 「顧客等に関する情報（別記様式第 1 号）」欄の入力方法

- ① 「氏名（法人名）」「通称・異名等」欄

- ・ 屋号付個人の場合は、屋号を除いた氏名についても、「通称・異名等」欄に入力してください。

【例】 フリガナ：マネロンカガゼニライタロウ [半角]  
氏名(法人名)：マネロン商事 銭洗 太郎 《全角》  
フリガナ：ゼニライタロウ [半角]  
通称・異名等：銭洗 太郎 《全角》

- ・ 外国人等で、漢字表記の他にアルファベット表記も判明している場合には、アルファベット表記を「氏名（法人名）」欄（または「通称・異名等」欄）に、漢字表記を「通称・異名等」欄（または「氏名（法人名）」欄）に入力してください。なお、フリガナ欄は、アルファベット表記又はカタカナ表記で入力してください。

アルファベット表記の場合は、漢字のまとまりごとに全角スペースを、漢字表記の場合は、姓と名の間に 1 つ全角スペースを入れてください（「フリガナ」欄のスペースは半角）。

【例】 フリガナ：ZHANG MEI LI [半角]  
氏名(法人名)：ZHANG MEI LI 《全角》  
フリガナ：チウビレイ [半角]  
通称・異名等：張 美麗 《全角》

- ・ 法人名を入力する場合、いわゆる前株、後株の表記の違いで入力方法が異なります。また、「フリガナ」欄には「カガシカイヤ」「ユゲカガイヤ」等の入力はしないでください。

【例 1】「株式会社銭洗商事」（前株）の場合

フリガナ：ゼニライカガ [半角]  
氏名(法人名)：銭洗商事／株式会社 《全角》

【例 2】「銭洗商事株式会社」（後株）の場合

フリガナ：ゼニライカガ [半角]

氏名(法人名)：銭洗商事株式会社 《全角》

※上記例は、株式会社の場合を記載していますが、この他、「社団法人」「財団法人」「医療法人」等の場合も上記例に準じて入力をお願いします。

- 漢字名、英字名そのものは判明しないが、読み方だけが判明しているような場合は、「フリガナ」欄にフリガナだけ入力し、下欄の「氏名(法人名)」欄にはフリガナは入力しないでください。ただし、外国人等、本人確認資料にカタカナの表記しかない場合は、「氏名(法人名)」にも、本人確認資料上のカタカナを入力してください。

また、顧客等の氏名(法人名)が全く判明しなかったケースでも、届出が必要と判断される場合には、「フリガナ」欄に「フメイ」とだけ入力し、「氏名(法人名)」欄は空欄としてください。

- 顧客等が法人の場合、その代表者や取引担当者等を「別記様式第2号」の「代表者・取引担当者・代理人・その他関係者の本人確認」欄に入力して下さい。関係者が多数いる場合は、必要に応じて「別記様式第2号」を追加作成してください。

また、取引自体は別個でも、同一グループによって関連取引が行われたと思われる場合(購入、名義変更、転売等が同一グループによって行われたと思われる場合等)は、取引の相手方ごとの届出を作成し、各届出の本欄に同グループの内の最低1名の氏名(法人名)及び生年月日を入力してください。

【例】

届出番号	000001	000002	000003	000004
氏名(法人名)	山田 太郎	鈴木 年男	佐藤 圭子	中山 寛子
生年月日	1971/08/09	1968/05/03	1982/09/02	1984/12/06
代表者・・・その他関係者の本人確認		山田 太郎	山田 太郎	山田 太郎
生年月日		1971/08/09	1971/08/09	1971/08/09
関連内容		同一グループ	同一グループ	同一グループ

② 電話番号

「電話番号」欄は3つあるため、自宅電話、携帯電話、勤務先電話等を入力して下さい。

③ 住所

- 必ず、都道府県名から入力して下さい。
- 丁目・番・号及びマンション・アパート等の部屋番号は「- (全角マイナス)」で繋いで下さい。

- ・ アパート名、ビル名、様方等はビル名等の欄に入力してください。

【例】 東京都千代田区霞が関3丁目1番1号ハイツマネロンA201号室  
の場合

→ 住 所：東京都千代田区霞が関3-1-1-A-201

《漢字、仮名、英数字全て全角》

ビル名等：ハイツマネロン

- ・ 住所が外国の場合、郵便番号は「999-9999」とし、住所のはじめに「外国」の文字を入力してください。
- ・ 住所が不明であったり、町名等までしか判明していないなど、不完全な住所しか把握していない場合は、住所欄は空欄としてください。

## エ 「届出理由（別記様式第1号）」欄の入力方法

届出理由欄に、「別添資料参照」とのみ入力しているなど、内容が簡単すぎる届出があります。このような場合、警察庁犯罪収益移転防止管理官や各捜査機関等でデータベース等を用いて届出情報を整理・分析する過程において、効果的に行えない場合があります。

このため、簡単すぎる内容とならないよう、届出理由欄には、最低限、下記記載例に挙げた事項等、疑わしい取引と判断した経緯について、箇条書きで結構です。で要点を入力して下さい。入力できる文字数は 800 文字までです。なお、個別の取引の日付・金額・(被)仕向先等、別記様式第3号に入力した事項は、重ねて届出理由欄に列挙する必要はありません。

### ① 反社会的勢力に関するもの

反社会的勢力と認識した理由を簡潔に入力願います。

- 【例】
- ・ 暴力団〇〇組と繋がりがあるとの風評がある
  - ・ 暴力団〇〇組が経営している企業と繋がりがあるとの風評がある 等

日常の業務において把握した事項や取引の相手方の態度や人相風体など、些細なことでも気付いたことがあれば入力してください。

#### ※ 反社会的勢力

反社会的勢力の明確な定義はありませんが、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針について（平成19年6月19日付犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）」には以下の記載があります。

「暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団又は個人である『反社会的勢力』をとらえるに際しては、暴力団、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治活動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等といった属性要件に着目するとともに、暴力的な要求行為、法的な責任を超えた不当な要求といった行為要件にも着目することが重要である。」

② 報道等による認知（事案の性質上、早急に届け出てください。）

- 【例】 ・ 取引の相手方（顧客等）が〇〇罪で逮捕されたと報道された  
・ 捜査対象となっている者の家族（関係者）が高額取引を行った 等  
※ 新聞等の掲載紙名、掲載日、捜査を行っている捜査機関名  
等も分かれば併せて入力願います。

③ 原資・使途先に関するもの

- 【例】 ・ 年齢、職業に見合わない高額の取引があった  
・ 借名取引ではないかとの疑問が感じられた  
・ 購入直後のものを売却する取引を繰り返している 等

オ 「顧客等（個人・法人）の本人確認（別記様式第2号）」欄の入力方法

自社内に保存されている限り、必ず「本人確認書類の種別」、「書類番号」を入力してください。

- ① 運転免許証は12桁の半角数字のみ入力して下さい。都道府県名や5桁の数字は入力しないで下さい。  
② 国民健康保険被保険者証の書類番号は、記号・番号・保険者番号欄に記載されている文字・数字を半角ハイフンで繋いで入力して下さい。記号・番号等の項目名は不要です。

【例】 記号「東き123」、番号「4567」、保険者番号「891011」の場合  
→ 東き123-4567-891011

《漢字、ひらがなは全角》〔英数字は半角〕

- ・ 外国人登録証明書は記号と9桁の数字のみを入力して下さい。

【例】 B123456789 〔英数字半角〕

カ 「継続的取引関係に関する事項（別記様式第2号）」欄の入力方法

顧客等と継続的な取引がある場合は、取引店名等のほか、「取引（口座等）種類」、「顧客（口座等）番号」等を記載してください。なお、金融機関の場合は、顧客番号（CIF番号等）ではなく、口座番号を入力してください。

「顧客（口座等）番号」の入力は、漢字・仮名は半角のカタカナで、英数字は半角でお願いします。

キ 「取引に関する事項（別記様式第3号）」の入力方法

① 「重要取引」欄の入力方法

顧客等との取引のうち、最も注目すべき取引について、●印を一つだけ付けてください。

② 「当該取引の取扱店」欄の入力方法

実際取引を扱った店舗を入力してください。継続取引がA支店で行われていても、疑わしい取引がB支店で行われた場合はB支店を入力することとなります。

また、店舗所在地が外国の場合、郵便番号は「999-9999」とし、住所のはじめに「外国」の文字を入力してください。

③ 「当該取引に関する情報」欄の入力方法

「手形・証券、金地金等の動産の番号」、「不動産の地番」等、記号や番号等によって、取引の目的物等が特定できる場合は、その種別と併せて入力してください。入力は、漢字・仮名は全角、英数字は半角でお願いします。

④ 「預貯金口座・クレジットカードを利用して行われた場合」欄の入力方法

- ・ 「(被)仕向先の氏名(法人名)」の氏名の入力方法については、「顧客等に関する情報」の氏名入力方法の例によってください。
- ・ 取引に銀行口座やクレジットカード等が使用された場合には、その金融機関名、カード会社名及び種別と併せて口座番号、カード番号等を入力してください。入力は、漢字・仮名は全角、英数字は半角でお願いします。

## 2 資料の添付について

参考資料は、その後の分析に非常に役立ちますので、取引状況・取引内容が判明する資料の写しの添付をお願いします。

また、届出以前の取引に関する資料や、面接記録等から判明することも多々ありますので、これらの参考資料の写しの添付をお願いします。

なお、資料の写しの印影は分析に用いていませんので、油性ペン等で完全に塗り潰して下さい。

資料の原本を提出することのないよう、お気を付けてください。

※ 参考資料の例

- ・ 本人確認資料
- ・ 顧客台帳
- ・ 売買契約書類
- ・ 取引明細・伝票
- ・ 登記簿謄本
- ・ 手形・証券類
- ・ 鑑定書・鑑別書・保証書等
- ・ 応接記録
- ・ 新聞、雑誌の切り抜き

等